

津繩作戰
ニ於ケル

戰車第三七聯隊史實資料

昭和三十三年三月二十五日
第三工軍務整理部

戰車第三聯隊史資料

一編成

聯隊長

陸軍中佐

村上正

本部

第一中隊

第二中隊

第三中隊

第四中隊

步兵中隊

砲兵中隊

工兵小隊

整備中隊

MTK (三)

LTK (一)

(指揮班長大尉高橋幸雄)

LTK (二)

(長大尉平野則之)

MTK (一)

LTK (一)

(長大尉矢代晋)

同右在宮古島步兵師團配屬(長大尉渡辺晃次)

MG (三)

(長大尉山口三郎)

TA (一)

MG (六)

(長大尉長谷川春雄)

90A (四)

MG (二)

(長大尉天裁重信)

MG (二)

(長小尉寺田記)

MG (六)

(長大尉林潔)

第三中隊受整備中隊、一小隊八宮古島ニ在リ
二、二月二十三日迄ノ態勢

主力二月下旬敵ノ硫黄島未攻時中頭郡中城根據待機
位置ヨリ島尻郡宮城附近ニ移駐シ待機位置構築作業中
一部(教育隊長田川大尉以下九〇名)各隊宜野湾

待機位置撤収人員ニ〇名)八十頭郡宜野湾村ニ在リ
尚南上原監視隊(長富永曹長)九名、南上原ニ在リ
三、戰鬥經過ノ概要

三月二十三日早朝ヨリ敵艦或機約六〇未襲ス空襲目標ハ
飛行場港灣施設外軍ヲ施設ニ指向セラレ此ノ日ヨリ敵ハ
我陣地設備ノ破壊ノ企圖セルモノ、如ク十月十日空襲以來敵ハ
空襲時、如キ軍ヲ飛行場港灣施設ニ目標ニカラス

三月二十四日

南西北地ニ持有、好天ニシテ早朝ヨリ再ニ敵機ノ不編隊群ハ
本島南部ニ未襲ス、例ニテ正午稍ニ前敵艦隊本島東岸
海上ニ出現セルトノ報ヲ將兵ニ要狀ナルヲ送感ラ與ヘタリ

才三十二軍將兵ニ甲辨戦備下命サルモ、ギ時遂ニ来リ
来ルニ先モ八隊ニ来ル敵艦(4隻)ハ漆川知念附近ニ艦砲射撃
ヲ開始ス我カ本ニ對スル最初ノ艦砲ニシテ轟々ル爆音ハ

神州南端沖繩本島ヲ震駭セシマツナリ
聯隊ハ愈々戦備ヲ強化スルトコソカリ即チ夜間ヲ利用シ教育
隊ヲ主力ニ復帰セシメ戦備強化促進ヲ図ル

(部隊配備要図第一、如シ)

三月二十五日

敵慶良間列島ニ上陸空襲及艦砲射撃、愈々熾烈ニ
ナリツ、アリ

三月二十八日 特隊整備中隊、工場ヲ目標ニシテ中爆ヲ行ヒ
此日部隊最初、戦死者將校一、中尉木村秀治
兵一（兵長松永大八）ヲ出セリ

三月三十一日 敵神山島ニ上陸軍命令ニ基キ砲兵中隊ヨリ
遊動砲兵ニ群ヲ以テ陸海軍重砲ト共ニ本夜神山島
ニ對スル挺進切込隊ト兼應ニテ敵重砲陣地、破壊作
長大尉 大越重信
第一群長根岸中尉 手安山、上附近ニ進出敵艦艇ヲ射撃

第一群長 秋元中尉 那覇附近ヨリ神山島射撃
相等、戦果ヲ收メタルヲ確認スルニ得ズ
四月一日 敵機五〇五ヲ以テ北中飛行場及周辺溷地ニ
以テ首里附近 與原小隊附近ヲ目標トス

艦船 (嘉手納沖) B12 C13 P50 TX80 11400
(本島週辺 嘉手納沖) B14 C30 P107 T500
(除ッ嘉手納沖週辺)

〇八〇舟艇、上陸準備ニ充テ北飛行場、北谷、間ニ上陸ヲ
開始ス 上陸兵力 70 960 M10
四月二日 270 上陸 四月三日 770 上陸
二〇〇 頃 普天間東西、線進出ス

四月六日

敵中一線我主陣地接解又部隊より南上原ニ攻遺シ
カリニ富永監視隊歩兵部ト協力シ敵機戰車(三)輜ヲ破産
セシテ敵使用地圖等有力ナ情報事項ヲ獲得ス

四月十二日軍中一回ノ總攻專ニ實施ス聯隊ハ被退四十四
旅團ノ知念羊島守備部隊一部ヲ併セ指揮ニ與那
原附近ノ守備ニ任ズ

自四月十三日至四月三十一日機動砲兵中隊ヲ以テ隨時那覇
及ニ與那原附近ニ機動シ敵後方部隊ヲ擾亂射撃ヲ實
施ス五月一日24ノ首里飛行場戦斗ニLTKMTK一小隊ヲ協同
セシテ陽動ス

MTK 小隊長 島津見習士官

五月四日軍第二回總攻專ニ當リ聯隊ハ第三四師團ニ配屬セル
當初師團左突進隊ニ協力シ續中ニ突進隊ニ協力スベキ
命令ニ基キ五月三日夜首里北方石嶺附近ノ公舎位置ニ進
入五月四日〇三三〇同出発位置突進隊ニ的發煙ヲ利用シ
主力ヲ以テ首里飛行場ヨリ(一四六北側ヨリ)一部ヲ以テ148高地
南側ヨリ前田南方120及ニ幸地方面ニ攻專前進シテ一戰隊
(LTK中隊及步兵一隊)又ニ分隊ヲ以テ120高地ヲ奪取シ
テ一戰隊ハ一戰隊ノ右後方ヨリ〇三三〇前前進前田南方一敵
ヲ攻專ニ120高地奪取ト同時中ニ突進隊棚原及幸地北側
高地ノ攻專ヲ協力スル一戰隊ハ此日戦斗ニ120高地ヲ
突破シテ一戰隊ハ中ニ突進隊ヲ協力セカ左突進隊方面
ノ攻專竟ノ如クナラズ一戰隊ハ消耗甚シキ中ニ突進隊

三訂定、各々進出セリ部隊の角度、攻襲準備ノ夕、一旦
首領飛行場南側ニ集結シ明五日、攻襲ヲ準備ス
本攻襲ニ於ケル聯隊ノ損耗亦少ク、戦果人員殺傷約
三〇〇(要箇中ニ)五月五日聯隊ハ、四三〇ヨリ南度、攻襲ヲ敢
行シ昨日ノ攻襲ニ連撃シ前四南側ノ敵陣地ヲ攻襲多ク
ノ戦果ヲ收メ五月六日軍命令ニ基キ聯隊ハ石嶺東西線ニ
陣地ヲ占領シ戦略持久態勢ニ變化ス各嶺附近既設陣
地ヲ夜間ヲ利用シ熾烈ニ砲轟シ敵陣地ヲ利用シ精量陣地ヲ
構築シ中隊長以下同陣地ニシツ、連日配備要箇中三
自五月七日至五月十二日連日砲爆轟ハ熾烈ニ極テ立陵
畑地ハ悉ク清野ト化シ人血ト彈片ニテ山岳ヲシマリ支那兵
九日ヨリ降雨ノ為陣地ニ在リシ將兵ハ悉ク泥濘ト濁水ノ中ニ

連日ヒナリ内上腹ト寒氣ハ定敵ナリ、寒ニ来ル然シモ、
八重且大アリ我一度同陣地ヲ放棄セバ軍司令部カニ四師団
ホテ十三師団司令部ハ一撃ニ敵手ニ臨ムベキハ明白ナリ
同地ニハ我が後方約五料ニシテ他ノ配備部隊ナシ一旦ニ
ハ同地ニ絶対確保ノ要アリ聯隊長以下將兵ハ將ニ此時ノ
重大任務ヲ肝銘シ一意滅敵奉公ノ勇氣ニ燃エホシキニ
聯隊ヨリ一中隊ヲ配属セシレ部隊ノ強化ヲ図ル
我砲兵中隊及連射砲分隊ハ進出シ来ル敵M4戦車ヲ悉ク
樹立煙上セシナツツテ陣前ニ迫迫ヲ許シラズ
樹立煙上セシナツツテ陣前ニ迫迫ヲ許シラズ
TK10ノ20輛兵員150ノ200ノ戦果ヲ上げアリ
此南ノ部隊ノ損傷ハ敵爆轟戦斗ニヨリ連日若干名ヲ出セリ

五月十七日。四三。突然監視兵ノ位置ヨリ銃声起ル敵兵ハ
我が中隊陣地ニ夜襲シ来ル我ガ監視兵ノ夜襲射撃ナリ
敵ハ自動小銃機肉銃ヲ掃弾ヲ以テ遂次肉迫シ来ル
遂ニ聯隊本部ヨリ進出ス敵兵約五〇。聯隊ハ全カヲ以テ
甲西ヨリ此ノ敵ヲ攷撃シ一撃ニ盡滅セシトセリ然レ共最右
翼中隊多山ノ隊ニ同様敵百ノ敵ノ攻撃ヲ受ケタリ
中隊ヲ以テ右翼ヨリ歩兵中隊及兵小隊ヲ以テ左翼
ヨリ本部砲兵整備中隊ヲ以テ正面ヨリ攻撃シ彼我入乱レ
混戦乱斗ニ入り彼我ノ死体見テ山ヲ下ニテ遂ニ刻
ニ至リ殘敵ハ敗退セリ本戦斗ニ於テ敵ニ與ヘタル損害五〇
(中遺棄死傷五〇)機肉銃自動小銃多数鹵獲
我が才ノ損害又大ナルモアリ

自五月十八日至五月二十二日

特編中隊二大隊(長鈴木小佐)銃機一小隊供送中隊ハ
属スル當時聯隊戦力ノ半ニ消耗シテリ
聯隊ノ配備(要図中)如シ
右中隊中隊ハ隊長以下全員玉碎部隊ノ兵力僅ク
トナリタルヲ以テ配属部隊ヲ入シ敵ト對峙スルコトヨク
ニシテ中隊ニ於テ連日手榴弾戦ヲ展開ス尚殘存九〇野砲
一門ヲ以テ右翼方面ニ進出スル敵M4戦車ヲ攔撃込上セシテ
依然トシテ戦車ノ迫リヲ阻止シテ夜間ヲ利用シ部隊ヲ一
線附近敵人員兵器ノ殺傷破壊ノ目的ヲ以テ切込隊ヲ
侵入セシメ多クノ戦果ヲ擧ゲタ

戦果 人員殺傷 二二〇〇

TK破壊炎上 二〇 (破壊炎上セルモノヲ
再壊破セルモノノミ)

A 一

集積爆弾 二

鹵獲品 バズーカ 一

機関銃 五

五月二十一日 聯隊ハ新ニ新部作戦ヲ開始スル目的ヲ以テ
本島南部地ニ轉進ス半命令ニ受テ二十一日夜石嶺
附近ノ守備ヲ特編才ニ大隊ニ委譲シ長堂ニ向テ前進ス
連日降雨ニ依リ泥濘ト化セリ道ハ一ツトニテナリ砲爆果
ノ彈痕ト燒上座ト化シ先首里市以テ通過ニ連日ノ戦斗

ノ疲勞ト由腹ヨリ將又一同絶大ナル苦力要セリ戦斗員
聯隊長以下二三八名ナリ首里城址ニ於テ聯隊長ハ
迫裏砲ノ破片ヨリ大腿部ニ重傷ヲ負ヒ出血多量ニテ
二十日未明東風干病院ニ搬送中戦死ヲ遂ゲタリ
部隊長戦死後高橋大尉部隊長代理下ニテ部隊ヲ
指揮ス

五月二十八日 〇二、〇ノオニニ師團ヲ六十三旅團命令ニヨリ
神里ニ轉進ス半命令ニ受テ〇四、三〇長堂ニ突進拂曉神里着
當時敵要圖ヲ五、六ニシテ神里東北高地ト領シテ聯隊ハ
ニテ中隊ヲ編成シ要圖ヲ六、七ニシテ既備ニ着リ
五月二十九日 敵ハ空輸ニ依ル才一線ハ、軍需品、補給ヲ行ヒ
神里附近ニ向テ主力ヲ以テ攻惠シ来ル

五月三十日 六月二日

聯隊ハ才一前進部隊トナリ成ダシテ敵ノ前進ヲ拒止シ軍ノ
收容ニ任ズ五月三十日夜自地ニ配備ノ他部隊ハ米須摩
文化地又ニ向テ前進ス六月一日敵ハ才一中隊及本部守備
陣地ハ侵透シ来リ我カ才ハ戦力大部ヲ消耗セルモ同
日夜神里南才台トシ兵カヲ果敢ニ整備シ同地附近
ニ敵ノ前進ヲ阻止ス夕企圖ス六月二日敵ハ西翼
ヲ包圍態勢ヲ整ヘ我カ守備陣地ニ侵入シ来リ此ノ日
ノ戦斗ニテ聯隊ハ殆ド壊滅的打撃ヲ受テ米須摩轉進
セル兵力將校以下二十一名ナリ。

六月四日病院ノ開放ニヨリ入院患者ノ中一重傷患者
ハ自決シ輕傷患者ハ所属部隊ヲホテテ集結シ来ル

六月八日 敵軍ハ才一前進部隊トナリ成ダシテ敵ノ前進ヲ拒止シ軍ノ
收容ニ任ズ五月三十日夜自地ニ配備ノ他部隊ハ米須摩
文化地又ニ向テ前進ス六月一日敵ハ才一中隊及本部守備
陣地ハ侵透シ来リ我カ才ハ戦力大部ヲ消耗セルモ同
日夜神里南才台トシ兵カヲ果敢ニ整備シ同地附近
ニ敵ノ前進ヲ阻止ス夕企圖ス六月二日敵ハ西翼
ヲ包圍態勢ヲ整ヘ我カ守備陣地ニ侵入シ来リ此ノ日
ノ戦斗ニテ聯隊ハ殆ド壊滅的打撃ヲ受テ米須摩轉進
セル兵力將校以下二十一名ナリ。

第三中隊八十八日未明摩文仁向之前進ニ△△高地
西方一軒ノ地莫ニ至攻襲準備中旅団命令ニ依リ
△△高地ニ轉進ニ賀谷部隊長ノ指揮ニ入ルベク十九日
二△△高地ニ到着セルモ當時同本部ハ敵ノ攻襲ヲ
受ケツンアリ即チ直チニ戦斗態勢ヲ以テ攻襲セリ
オ四中隊ハ天明ト同時ニ至先真榮平東方地ニ向キ
前進スニ三△△第四中隊ハ摩文仁北才四又路西才△△
上ヲ占領スバク命セヒ一八△△行動開始△△東方高地ニ
前進ス後據点ハ所命ノ地莫ニ十八日朝達シ糧秣等
前送ノ任務ヲ遂行シツアリ六月十九日既ニ敵ハ一路摩
文仁ニ向キ前進ス正午頃敵ハオ四中隊正面ニ攻襲シ

オ四中隊ハ△△高地ヲ奪取ス第四中隊ハ既ニ包圍中
ニアリオ四中隊ハ昨夜二回ニ亘リ△△高地ニ夜襲ニ敢行
セニ成功セズ但シ相等ノ戦果ヲ收メタリ

六月二十日敵ノ摩文仁軍司令部ヲ圍ニ對スル攻襲愈
々急激ヲ極ム情報ヨレバオ四中隊ハ殆ド全滅ニ類シアリ
オ四中隊ハ△△高地ニ轉進ヲ命セラルカニ△△隊(中央小隊)
ハ戦車砲ノ攻襲ニヨリ全員玉碎シオ一△△隊ヨリ前才
一△△隊ニ至セル監視哨モ既ニ連絡トシズ全員戦死セル状況アリ
ニ△△隊存兵ノヲ以テ△△高地ニ轉進スベク射撃ニテ前進ヲ
開始ス途中情報ニ依リバ敵ハ既ニ△△高地ヲ占領シ部隊ハ切込
リ實施スベキ命ヲ受ケアリ即チオ四中隊ハ残存セル人員ヲ以テ
摩文仁海岸ニ集結シ切込ヲ準備ス後才據点ハ其ノ周圍皆

敵ニテ戰車隊長トノ連絡モ既ニトシタル状態ニテ此ニ於テ
才六ニ旅団ト直接連絡摩又仁南才台地ヲ守備スベキ命ヲ
受ケテ二十日夜其ノ全カヲ以テ陣地ヲ占領ス

六月二十一日才四中隊ハ切込隊ヲ編成シ一之六ノ期ニ全員切込
實施ス後才隊長タリ陣地占領部隊ハ十三時頃ヨリ敵兵
約一〇名TK數輛及火焰放射機ノ攻車ヲ受ケタリモ克ク之ヲ退
ク割トテリ而シテ全般ノ状況ニ鑑ミ切込隊ヲ編成シ全員
切込ヲ實施スルニ決意シ敵中突破ノタメニ〇〇〇出発セリ

六月二十一日迄ニ終ケル戦果
人員殺傷ニ四〇(但シ神皇ニ終ケル戦果不明)
戦車破壊炎上ニ二三(確認セルモノニ)
射撃破壊ニ
集積所破壊ニ

聯隊ハ石嶺附近戦ヲ終テ六月十八日車司會ヨリ
部隊感狀ヲ授與セラル

同戦斗ニ於テ才二十四師團長ヨリ賞詞ヲ五月下旬
授與セラル四月下旬才六十二師團同既屬部隊ニ
感狀ヲ授與サル

六月二十一日以降ノ戦果ハ全ク不明ニテ判明セルモノ
人員殺傷 五